

## 災害時における当科の報告体制づくりの取り組み

◎野崎 智子<sup>1)</sup>  
富山市民病院<sup>1)</sup>

### 【はじめに】

地震等の災害時、当院では、各部門の被災状況を「被災状況報告書」に記載し、設置された災害対策本部に第一報報告する運用となっている。予期しえない災害に備え、訓練は、毎年実施しているが、当科の一報報告（職員安否や施設損壊状況・ライフライン等の情報）は提供するまでに時間を要し、情報の正確性からも体制は十分であるとはいえなかった。今回、報告までの時間を短縮し、より正確性の高い情報を提供する目的で取り組んだ内容を報告する。

### 【取り組み内容】

- ①スタッフ全員が対応できるように、検査科の災害対応フロー図の作成
- ②対策本部に提出する「被災状況報告書」に合わせたチェック表の作成
- ③ホワイトボードの活用（チェック表の貼付）

### 【結果】

コロナ禍での縮小訓練では、作成したフロー図を活用し、災害対応の流れがわかり易くなり、正確・迅速な情報提供

ができた。なお、通常訓練での検証も必要と考える。

また、チェック表の一部にスタッフの配置換え時に更新が必要となることは今後の検討課題としたい。

### 【まとめ】

災害時における検査科災害対応フロー図を作成するとともにチェック表の見直しを図り、正確・迅速な情報提供できる体制を整えた。

連絡先 076-422-1112 (2247)